



## 脱原発 松江で訴え

小泉元首相 自然エネ推進も

2019.2.17. 中日新聞

脱原発を訴えている小泉純一郎元首相が16日、松江市の島根県民会館で講演した。原発ゼロと自然エネルギーの推進を訴え、訪れた市民たち約2100人から大きな拍手が湧いた。

脱原発派になったという。全発電量に占める自然エネルギーの割合が増えていくとし「政府が音頭を取れば10年足らずで30%を実現できる。そういう政府に変えるしかない」と強調した。

「脱原発をめざす首長会議」の世話人を務める三上元・前静岡県湖西市長も登壇。建設済みの原発を国民投票で動かさなかったオーストリアの事例を挙げ、中国電力島根原発（松江市鹿島町）が立地する島根県でも、稼働の是非を問う住民投票の実施を提案した。講演会には中川秀直元官房長官も出席した。

松江市西川津町、安達日南子さん(73)は「電力が不足しても安全第一。原発は動かしてはならないと改めて思った」と話した。

(三宅 暉)